

vol.321

2022  
WINTER



アルテ

鳥取県文化振興財団情報誌



# Wiener Ring-Ensemble

*New Year Concert 2023*

| 特集 |

極上の音楽で華やかに年始め

ウィーン・リング・アンサンブル が来鳥コンサート

| 鳥取の未来のために |

U-18シアタープロジェクトAct2

捨てきれないもの

# 極上の音楽で華やかに年始め

## ウィーン・リング・アンサンブルが来鳥コンサート

クラシック音楽の本場オーストリア・ウィーンから届く極上の“お年玉”。ウィーン・リング・アンサンブルが、4年ぶりに鳥取でニューイヤー・コンサートを開催します。ヴァイオリン奏者のダニエル・フロシャウアー氏が公演の見どころや想いを語ってくれました。夢のような新年の幕開けをご堪能ください。

### 古参と若手9人で編成

ウィーン・リング・アンサンブル(以下、WRE)は、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者を中心に、ウィーンの音楽を演奏するために結成された9人編成の豪華なアンサンブルです。ウィーンの旧市街地を取り囲む環状道路「リング」にちなんで命名され、2016年まで45年間、ウィーン・フィルのコンサートマスターとして同団を率いたライナー・キュッヒル氏を中心に、若手からベテランまで在籍します。

ウィーン・フィルのニューイヤー・コンサートは毎年1月1日に世界中に中継される音楽の祭典。WREのメンバーはニューイヤー・コンサートを終えたその足で来日し、祝祭に満ちた本場の響きと香りを日本に届けてくれます。

### 優雅、あふれる幸福感

「新年の到来は世界中の人に

とって特別であり、しかも美しい音楽とともに迎えられるのはとても素敵なこと。幅広い層を念頭に置き、直接ハートに訴えかけるコンサートなのでクラシック音楽が初めての人も十分楽しめます」とチャームिंगな笑顔で語るのは、WREのヴァイオリン奏者でウィーン・フィルの楽団長も務めるダニエル・フロシャウアー氏。その言葉通り、プログラムは明るく軽快なウィнна・ワルツやポルカなど、優雅で幸福感あふれる作品で構成されています。

ウィнна・ワルツは19世紀にウィーンを中心に愛されてきました。特有のリズムを持ち、シュトラウス一家をはじめとするオーストリアの作曲家たちが数多く手がけています。「ウィーン人特有の美しい過去を懐かしむ気質が表れたプログラムですが、日本の皆さんにも共感していただけるはず。バラエティに富み、誰もが

座って聴いているだけで楽しめるコンサートです」と自信を見せます。

### 制限乗り越えた喜び

WREは1991年の初来日以来、毎年のように日本ツアーを行い今回で何と31回目！新年の風物詩として毎年楽しみにしている日本のファンも多いですが、2021、22年の新年はコロナ禍により来日が叶いませんでした。「コンサート活動を厳しく制限される日々が続き、こうして聴衆の前で演奏できることに心の底から喜びを感じます。実現してくれた関係者に心から感謝するとともに、純粹に音楽の喜びを皆さんと分かち合いたい」と喜びをかみしめます。

鳥取県での公演は、19年の米子公演以来3回目。前回、世界最高峰の演奏家たちによるアンサンブルは好評を博し、遊び心にもあふれた美しい調べに

サートを体感するまたとない機会。フロシャウアー氏は「鳥取の皆さんとお会いするのが楽しみです。優秀なだけでなくハンサムなメンバーを集め、2人のスーパースターもいます。ぜひ会場でたしかめて」と茶目っ気たっぷりのメッセージをくれました。

ニューイヤー・コンサートは、クラシック音楽ファンはもちろん、堅いイメージを持つ人もカジュアルに楽しめる新年の祝祭。「クラシックという言葉のために、楽にたのむ人もいられるかもしれませんが、どんな人も心が癒され、楽しめるコンサート。私たちの音楽を聴いてください。きっと誰もがクラシック音楽のファンになりますよ」

ウィーンから届く本場の音楽で、家族や友人とともに新しい年の始まりをお祝いしましょう！



ヴァイオリニスト Daniel Froschauer

ダニエル・フロシャウアー



ウィーン生まれ。ニューヨークのジュリアード音楽院に留学した後、ウィーン国立音楽大学でアルフレート・シュタール、アルフレート・アルテンブルガーに師事。ピンカス・ズーカーマンにも学ぶ。1998年からウィーン・フィルとウィーン国立歌劇場の第一ヴァイオリン奏者を務め、2004年からセクションのリーダーとなる。ウィーンムジークウエライン弦楽四重奏団(キュッヒル弦楽四重奏団)メンバー。17年からウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の楽団長を務める。

聴衆は酔いしれました。今回のツアーの見どころについて、フロシャウアー氏は「個人的にはスッペの序曲がチャームिंगで一番好き」と前置きしつつ、「ヨハン・シュトラウス二世のオペレッタ『こうもり』のチャールダーシュは多くの人々が楽しみ喜べる作品。その他にもウィーンの各時代の曲を織り交ぜ、アンコールまで楽しめます」と解説します。

### 世代超え楽しめる祝祭

本公演は県内で開催が少ない本格的なニューイヤー・コン



※写真は以前のものです。2023年から、チェロにシュテファン・ガルトマイヤー氏が参加しております。

2/19

よみがえる宮廷音楽の響き



サマーバロックコンサート(2021年8月、倉吉未来中心)

ウインターバロックコンサート

EVENT INFORMATION



日時 2023年2月19日(日)  
 時間 開場 13:00 開演 13:30(予定)  
 会場 倉吉未来中心 小ホール  
 チケット 全席指定(税込) 一般 2,000円  
 一般ペア 3,500円 U18 800円  
 ※一般ペアは、一般チケット2枚同時購入が対象。 ※未就学児入場不可

<出演> 中嶋 寄恵 / 時本 さなえ / 平出 智子  
 井上 玲 / 門倉 佑希子  
 <演奏予定曲>  
 ・室内協奏曲RV92 / A. ヴィヴァルディ  
 ・「音楽の花束」よりベルガマスカ / G. フレスコバルディ  
 ・チェロソナタ長調 / D. ガブリエッリ 他

バロック音楽をこよなく愛する5人の古楽器演奏家が、その魅力を伝えたいと倉吉未来中心に集結! 中世ヨーロッパに使われたのと同じ造りの楽器により、王侯貴族の前で演奏された宮廷音楽が今によみがえります。

登場するのはパイプオルガンとチェンバロ、リコーダー、バロックヴァイオリンとバロックチェロ。パイプオルガンは倉吉未来中心が県内ホールで唯一所有し、日ごろアトリウムで自動演奏しているもの。この日はプロの演奏で本領を發揮します。リコーダーの豊かで伸びやかな音色にもご傾聴を。コンサートはTCO\*のチェリスト、中島寄恵<sup>よりえ</sup>氏の呼びかけで実現しました。同じくTCOの時本さなえ氏ら地元音楽家と、国内外で活躍する古楽器演奏家たちの共演が、小ホールを温かな響きで満たします。

\*TCO…とっとりチェンバロオーケストラ

1/28

ピアノ3台を比較、魅力探る



©Seiichi Saito

みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート  
 梨花ホールレクチャーコンサートシリーズ vol.4

とろぎん文化会館には、3台のグランドピアノ「スタインウェイ D-274」「ヤマハ CFⅢS」「ベーゼンドルファー・モデル290インペリアル」があります。それぞれどんな音色がするのか、同じ曲がピアノごとにどう変わるのか、3台を並べ実際の演奏を通して聴き比べられるまたとない機会が「みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート」です。

ナビゲーターは昨年引き続き、数々の国際コンクールで優勝を取めた金子三勇士<sup>みゆじ</sup>氏。昨年日本デビュー10周年を迎え、この春、新譜CD「フロイデ」を発表しました。コンサートでは金子氏の演奏に加え、それぞれのピアノの特徴や歴史、音色の違いなどを解説。地元の子どもピアニストとの連弾も交えながら、ピアノの魅力と奥深さをお届けします。

EVENT INFORMATION



日時 2023年1月28日(土)  
 時間 開場 13:15 開演 14:00  
 会場 とろぎん文化会館 梨花ホール  
 チケット 全席指定(税込) 一般 2,500円  
 U18 無料(要整理券)  
 ※未就学児入場不可

<コンサート及びレクチャー/ピアニスト×ナビゲーター>  
 金子三勇士  
 <演奏予定曲>  
 ・バルトーク:オスティナート  
 ・ベートーヴェン:エリーゼのために  
 ・ショパン:仔犬のワルツ 他

INTERVIEW

北村 真彩

倉吉東高校在学時は演劇部に所属し、2年生の時に「戯曲創作講座」に参加。「捨てきれないもの」はブラッシュアップの期間も含めて約2年かけて書き上げた。本事業がきっかけで日本大学芸術学部演劇学科舞台構想コースに入学し、現在1年生。大学で演劇を学びながら、友人とともに来年公演する予定の舞台の戯曲を創作中。



作品は宝物、貴重な経験に感謝

「捨てきれないもの」は私が初めて完結させることができた戯曲です。それまで、高校の演劇部では戯曲創作に挑戦しては挫折の繰り返し。プロジェクトで大和屋先生に戯曲の枠組みやセオリーを教わり、宮田先生に演出家の視点から指導していただいたことで、時間はかかりましたが物語を終わらせることができました。

この作品は中学生時代の実体験をふまえているので、制作では過去の自分と何度も向き合いました。当時の自分の幼さや視野の狭さを知るたびに恥ずかしくて仕方なかったのですが、大和屋先生に「それがいい

んだ」と言われ、恥ずかしくもあり、でもかけがえのない宝物のような作品になりました。舞台では、宮田先生によって物語が膨らんで立体化され、さらに役者さんが演じることで言葉に強さが加わり、その過程を体感できたことは大切な財産です。このプロジェクトの経験がなければ、今、大学で演劇を勉強していません。10代で貴重な経験をさせてもらったことに感謝するとともに、同じように演劇に興味を持つU-18の皆さんが恥ずかしがらずに多くの経験をしてほしいと思います。それがきっと、後から役に立ったり、長所になったりするはずですよ。



ARTS FOR EVERYONE

鳥取の未来

のために

触れる・育てる・創る・伝える

鳥取県文化振興財団プロデュース公演《演劇》  
U-18シアタープロジェクトAct2

捨てきれないもの

鳥取県内の18歳以下の若者たちが、演劇のプロフェッショナルのサポートのもと本格的な舞台作品を制作する「U-18シアタープロジェクト」。今夏の第2弾公演を足がかりに、県内の舞台芸術を盛り上げていきます。

プロの指導のもとゼロからつくる舞台芸術

「U-18シアタープロジェクトAct2」は鳥取県内のU-18(18歳以下)の若者が、日々の疑問や主張などを自由に表現した戯曲を、同じく県内のU-18のキャストが演じる演劇公演企画の第2弾。U-18が戯曲の創作から取り組むプロジェクトは全国でも画期的であり、2019年3月に第1弾の2作品が上演され、翌年6月に第2弾が始動しました。

同事業では、質の高い舞台芸術作品の創造と、地元活動者との協働の推進を目指し、演出家の宮田慶子氏、劇作家の大和屋かほる氏の協力のもと、丁寧に作品をつくり上げました。「戯曲創作講座」では3名の受講生が大和屋氏から戯曲創作の基本を学び、約1年かけて新作戯曲3作品が完成。その中から上演作品に選ばれた「捨てきれないもの」は、作者の北村真彩氏の実体験をふまえた群像劇です。舞台美術の一部や音楽もU-18が制作し、オーディションで選ばれたキャスト6名に客演を迎えて今年8月に上演。若者のみずみずしい感性あふれる舞台に観客からは高評価を得ました。また参加者にとってもプロの指導を受ける貴重な経験に。同事業が舞台芸術活性化の足掛かりとなるよう期待されています。



作品の中で役を生き、柔らかく自由なU-18の可能性を見せてくれた役者たち(2022年8月、とりぎん文化会館小ホール)

あらすじ | U-18シアタープロジェクトAct2 捨てきれないもの

父親の起業のため東京からとある小さな村に引っ越してきた中学3年生の中村結衣は、閉鎖的な環境になじめず、下校時、村で信仰の対象となっている地蔵を誤って壊してしまう。目撃した謎の男は、新しくできる会社に自分を雇うよう父親にとり次ぐことを条件に口外しないと約束する。そこへ同級生たちがやって来て、結衣は話を合わせるが、ついに地蔵を壊したことがば

れ、責められる。彼女を嫌うところの直子も結衣が村に来た本当の理由をぶちまけるが、同級生たちは結衣に同情し、逆に直子を非難する。直子は東京から来た結衣が自分より輝いてチャホヤされていると感じ、自分こそ村から出て魅力的な人になると宣言する。否定されるほどに意志が強くなる直子。ついに結衣もその直子の強さを認め、徐々にお互いを理解し始めるのだった。



捨てきれないもの

## 鳥取県合同オーケストラ

【設立/1996年 メンバー/60人】

県内に弦楽部、オーケストラ部がある鳥取西高、倉吉東高、米子東高の3校で編成するオーケストラ。県全体でのスキルアップ及び交流を目的として、年3回程度の合同練習会を行い、全国高等学校総合文化祭、近畿高等学校総合文化祭などに出演しています。



第41回近畿高等学校総合文化祭滋賀大会 器楽・管弦楽部門(2021年11月20日、守山市民ホール)



弦楽器が加わった  
オケの音が大好き



Interview |  
倉吉東高校 **山本 常**さん  
17歳/活動歴2年

オーケストラ部への入部をきっかけにチェロを始めました。中学校の吹奏楽部でサクソフオンを吹いており、現在も部活を掛け持ちしています。はじめは、合奏に弦楽器が加わることでこんなにもオケの音が変わるのか!という驚きがありました。吹奏楽とはひと味違う管弦楽の音が大好きです。この合同オーケストラの活動で、全国規模の文化祭など大きな舞台に立つことができました。また、他校の部員との交流から刺激を受けたり、日頃の悩みなどを共有出来るよい機会になっています。

### 楽器の楽しさ、素晴らしさを感じられる体験を

弦楽部、オーケストラ部がある高校がわずか3校のみという環境だからこそ、県内高校全体として活動を行うことで技術的、音楽的にも全国に通用する我々にしか出来ない演奏を目指しています。生徒たちには弦楽器の裾野を広げ、管弦楽の楽しさ素晴らしさを体験してほしいと思っています。



顧問代表・指揮  
**石黒 信行**さん



## 鳥の眼

torinome

土着の祭りの伝承  
継承に支援の手を

文化の秋を迎え、イベントや祭りが各地で開かれ、「3年ぶり」が合言葉のようににぎやかだった。祭りが地域を元気にし、いかに日本の文化として深く根付いているかを実感する。

古くから盆踊りとして伝承されてきた全国各地の41件が、伝統芸能「風流踊」としてユネスコの無形文化遺産に登録されたというニュースは朗報である。代表的なのは岐阜の郡上踊り、近くでは津和野弥栄神社の鷺舞などである。

いずれも歴史が長く、国の重要無形民俗文化財にも指定されている。それが貴重な文化遺産として世界的に評価されるのは大いに結構なことだ。何よりも伝統継承の励みになる。

また、戦後の高度成長期に始まった各地の盆踊りも忘れてはならない。

この夏、鳥取のしゃんしゃん祭や米子のがいな祭をはじめ、青森のねぶた祭、徳島の阿波踊りなど全国的な夏祭りも3年ぶりに復活した。その一方で盆

踊りやジゲの氏神さんの祭りなどは今年も見送る地区が多かった。過疎・高齢化で慢性的な担い手不足に長引くコロナ禍が追い打ちをかけた。

盆踊りや祭りは先祖の供養や厄払い、豊作祈願など古来の儀礼信仰と結び付いている。それ以上にコミュニティや絆として欠かせない。伝統にこだわり、守るだけではこの先、受け継がれるのは困難である。伝統を守りながら時代に合った新しい形を創り出す。文化というものはおおよそそうしたもので、時々形を変えながら伝わってきた。県内でも麒麟獅子舞や太鼓、時代行列などが次代を担う若者や子どもたちによって受け継がれているのを見て、頼もしく感じた。

一度途絶えたものを再興するのは並大抵ではない。今のうちに各地の土着の祭りを継承・奨励するためにも新たな無形民俗文化財として積極的に支援の手を差し伸べるべきだ。経済も大切だが、文化も同じように大切である。

# とっとりチェンバーオーケストラ ・TCO・ Pre-talk

クラシックの演奏家の中でも  
珍しい古楽器奏者の2人。  
古楽器との出会いや魅力、  
モダン楽器との違いを語ります。

ヴァイオリン奏者  
とまもと  
**時本 さなえ**

チェロ奏者  
なかしま よりえ  
**中嶋 寄恵**

教えて!本番前のMyルーティーン/

胃腸の調子が演奏に反映されることがあるので、辛い物は控えて食べ過ぎないようにしています。

本番前もご飯は食べますが、コーヒーとパンは控えるように気を付けています。



### 古楽器との出会い

時本 私は小さい頃から「ずっとヴァイオリンをしていくんだ」って思っていた。それでプロになって、大学院にも進んで修士論文でバッハをテーマにした。その後27歳で古楽器の先生と出会ってその時に初めて演奏したんだけど、その時に夢のような音が出て。弾きやすくてシンデレラフィットだ。と。寄恵ちゃんはどう?

中嶋 大学3年時に参加した外部セミナーで、バロックの先生の指導を受けたんです。7年くらい通って、その間は私はずっとモダン楽器。その後、バロックチェロを借りることができるようになって。ずっと習ってきた音だから衝撃はなかったのですが「同じ方向を向いている人たちがやりたい!」と音大の古楽科に入り直しました。

### 万全の準備で本番へ

中嶋 モダン楽器の金属ス

### チール弦と古楽器のガット弦

には、音色やピッチにかなり違いがあり、違和感を覚える人もいます。また、コンサートで耳に入りやすいポピュラーな曲を選ぶが、当時の作品を今に伝える文化遺産的な役割として、当時から再現して伝えるべきか悩んでしまいます。

時本 モダンのクラシックでも苦手意識がある人がいる中で、古楽器は慣れないと良さが伝わりづらい面もあるよね。観客に楽しんでもらえるように、プログラムの構成やトークに万全の事前準備をして、私たちが本当に良いと思うものを作れば伝わると信じてるし、お客様の反応からも手応えを感じてるよ。

### 目指すものは同じ

中嶋 モダンは「歌う」楽器で、古楽は「喋る」楽器とたとえられることも。古楽では、お互いの楽器を理解するために

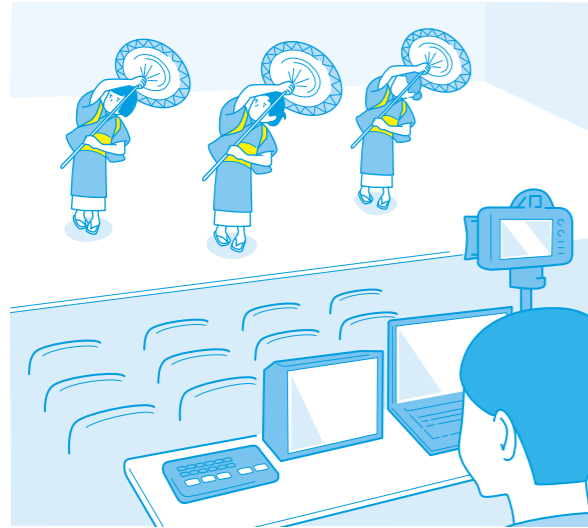
### 古楽器とモダン楽器とは?

古楽器とは、19世紀以前に使われていた楽器の総称で管楽器や鍵盤楽器も含まれる。これに対して、現在多く使われているのがモダン楽器だ。現存するオリジナルの古楽器は少なく、形状やピッチ、奏法がモダン楽器とは異なり、音程をつくるのが難しい。当時の作曲家や演奏家の意図を繊細かつ大胆に表現できることや、現代の感覚で自由に捉えられるのが魅力。

鍵盤楽器など他の楽器のことも学びます。古楽器の奏者は、弦楽器に限らず鍵盤楽器も調律を自分たちでするなど、不安定な楽器を取り扱うための感覚を養います。  
時本 音の画素数が多いよね。結局、モダンも古楽器も目指すところは一緒で、観客と奏者が音楽を通して調和することだと思ってるんだけど、古楽器での演奏は色彩感が大切だから、共演者やお客様とも豊かな調和に向かっている感じがする。

## 動画配信に必要な機材を整備しました!

プロ・アマ問わず、あらゆるイベントにおいて動画配信が広まる中、皆様のニーズにお応えするため、配信に必要な機材の貸出を始めました。発表会や社内イベント等で「手軽に配信したい」といった方にオススメです。動画配信を検討される際は、ぜひご利用ください。



### 「動画制作・Web配信用機材」セット内容

- 4Kカメラ ●360°カメラ ●ハブ・ケーブル類
  - ライブプロダクションスイッチャー
- \*配信に必要なソフトをインストールしたPCは主催者様にてご用意ください。

### 利用料金

- 1セット1回につき:1,890円(税込)
- \*利用回数は、午前・午後・夜間の各区分を1回といたします。

### 利用できる会場

- とりぎん文化会館…梨花ホール・小ホールほか
  - 倉吉未来中心…大ホール・小ホールほか
- \*会場の通信環境については、各施設までお問い合わせください。

ご利用希望の方は、各館施設利用課までお問合せください

- とりぎん文化会館 施設利用課 …… TEL:0857-21-8700
- 倉吉未来中心 施設利用課 …… TEL:0858-23-5390

地域貢献・ネーミングライツ



とりぎん文化会館は、株式会社鳥取銀行のネーミングライツによる支援をいただき、安定的な施設運営を行っています。

## パートナー企業制度 文化芸術を通じたパートナーシップ ~アートが人・地域をつなぐ~

「文化芸術」による地域の発展に向けて共に歩む「パートナー」のみなさま

### スペシャルパートナー企業

- 株式会社さんびる
- 株式会社新日本海新聞社
- 株式会社中海テレビ放送
- 日本海テレビジョン放送株式会社
- 堀田石油株式会社

### パートナー企業

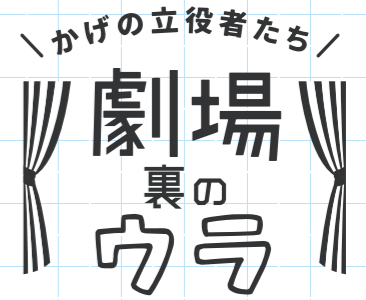
- 株式会社あおい総合設計
- 株式会社井中組
- 株式会社エスマート
- 株式会社懸樋工務店
- 有限会社キーワード
- 株式会社衣笠商会
- 山陰エレベータ株式会社
- 株式会社山陰合同銀行
- 山陰東芝エレベータ株式会社
- 三光ホールディングス株式会社
- 鳥取ガス株式会社
- 株式会社鳥取銀行
- 鳥取信用金庫
- ヤマタホールディングス株式会社
- 税理士法人山根会計事務所



問い合わせ | 公益財団法人鳥取県文化振興財団 総務課 パートナー企業制度担当 TEL:0857-21-8700

## 劇場舞台の消火設備 開放型スプリンクラー

もしも、舞台上で火災が起こったら? 劇場施設には、万一の火災に備えてさまざまな消火設備が備わっています。今回は、劇場特有の消火設備を紹介します。



### Q1 開放型スプリンクラーとは何ですか?

**A** スプリンクラーには「閉鎖型」と「開放型」の2種類があります。建物内のほとんどは「閉鎖型」で、散水ノズルの先端の栓が熱で除かれて水が飛び出す仕組みです。しかし約25mある舞台の上部には火災の熱が届きにくいので、舞台袖の散水コックを手動で開きます。「閉鎖型」に対し、ノズルの先が常に開いているので「開放型スプリンクラー」と呼ばれます。

### Q2 どのような仕組みですか?

**A** 施設の地下には102トンの消火用水があります。舞台袖の散水コックを開くと地下の消火栓ポンプが稼働して、舞台上部の一斉開放弁が開くと同時に一気に水を送り、そこからノズルへ水が渡ります。梨花ホールの舞台には8つの一斉開放弁と対応する散水コックがあり、それぞれに応じたエリアに散水されます。

### Q3 水は止まりますか?

**A** ひとたび開放型スプリンクラーが作動すると、あまりにも水圧が強いため、一斉開放弁を閉じられませんが、地下の消火栓ポンプを止めるまで、ありったけの水を出し続けます。実際の火災では、まず消火器での消火を試みます。スプリンクラーは最後の手段なのです。

スプリンクラーは使わずに済むのが一番ですが、人命を守り延焼を防ぐ、安心・安全を与えてくれる設備です。年2回の定期点検を行い、常に万一に備えています。

劇場の裏側紹介担当  
アルテウラ子



上手・下手の舞台袖にそれぞれ設置してある散水コックを手動で開きます



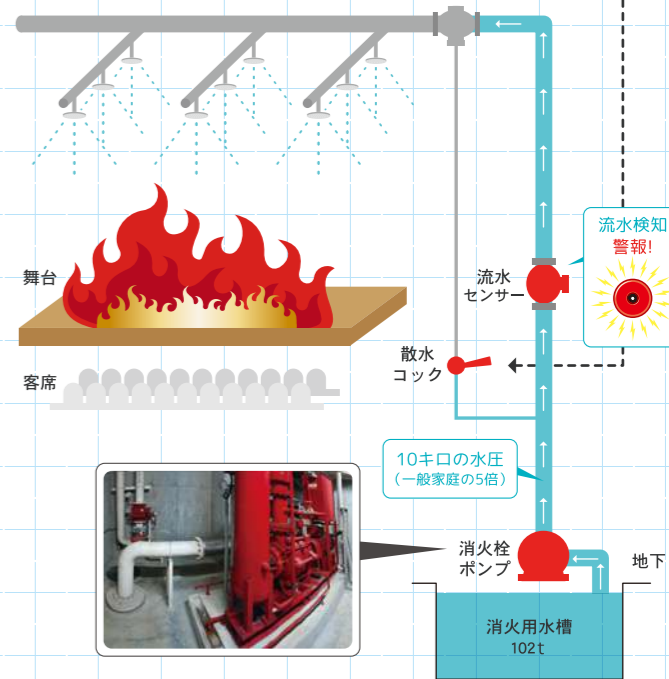
開放型

開放型スプリンクラー手動開放弁格納箱



散水ノズル

一斉開放弁



舞台

客席

流水検知警報!

流水センサー

散水コック

10キロの水圧 (一般家庭の5倍)

消火栓ポンプ

地下

消火用水槽 102t

# EVENT INFORMATION

新年は心踊るクラシックでお祝いしよう♪

『公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう2』参加事業  
ウィーン・リング・アンサンブル  
ニューイヤー・コンサート2023

世界トップクラスのオーケストラ、ウィーン・フィルの首席奏者らによって結成された「ウィーン・リング・アンサンブル」が4年の時を経て再び鳥取へやってきます。豊かな音色と感動、そして大編成のオーケストラとは一味違う“アンサンブル”の魅力をお楽しみください。



©大杉隼平

日時 1月9日(月・祝) 開演 14:00  
会場 倉吉未来中心 大ホール

チケット 全席指定(税込) S席:7,500円  
A席:6,500円 B席:4,500円  
U22(A席・B席限定):3,000円  
U15(A席・B席限定):2,000円  
A席ハーフプライス:3,200円  
(公演当日限定・エリア限定)  
B席ハーフプライス:2,200円  
(公演当日限定・エリア限定)

<曲目> オペレッタ「こうもり」からチャールダーシュ(J.シュトラウスII)  
ワルツ「天体の音楽」(ヨーゼフ・シュトラウス)ほか

<出演> ライナー・キュッヒル(ヴァイオリン)  
ダニエル・フロシャウアー(ヴァイオリン)  
ハインリヒ・コル(ヴィオラ)  
シュテファン・ガルトマイヤー(チェロ)  
ミハエル・プラデラー(コントラバス)  
カール=ハインツ・シュツツ(フルート)  
ダニエル・オッテンザマー(クラリネット)  
アレックス=ラドシュテッター(クラリネット)  
ロナルド・ヤネシツツ(ホルン)



梨花ホールの裏側や舞台の秘密を大公開!

とりぎん文化会館  
ホール探検ツアー



日時 1月15日(日)  
開演 [1回目]10:00 [2回目]14:00  
会場 とりぎん文化会館 梨花ホール



親子で気軽にピアノ時間

地域の賑わい創出事業  
みんなのピアノ  
ファミリーコンサート



©Ayako Yamamoto

日時 1月27日(金) 開演 11:00  
会場 とりぎん文化会館 リハーサル室  
<出演> 金子三勇士(ピアノ)



見て・聴いて・感じて楽しい打楽器の世界

未来つながるプロジェクト  
ハッピースマイルコンサート  
打楽器アンサンブルVzスペシャル



日時 2月23日(木)  
開演予定 [午前の部] 11:00  
[午後の部] 13:15  
会場 倉吉未来中心 小ホール



世界が認めた若き才能の協演

特別共催事業  
岡本誠司&反田恭平  
デュオコンサート2023



©Yuji Ueno

©Yuji Ueno

日時 3月1日(水) 開演 18:45  
会場 米子市公会堂 大ホール  
<出演> 岡本誠治(ヴァイオリン)  
反田恭平(ピアノ)



公共財団法人 鳥取県文化振興財団

最新情報はホームページをチェック!

とりぎん文化会館  
(県民文化会館/財団事務局)



TEL 0857-21-8700  
http://www.torikenmin.jp/kenbun/  
〒680-0017 鳥取市尚徳町101-5  
休館日:年末年始および毎月第2・4・5月曜日  
(祝日の場合は、その翌平日)

倉吉未来中心



TEL 0858-23-5391  
http://www.miraichushin.jp/  
〒682-0816 倉吉市駅経寺町212-5  
休館日:年末年始および毎月第1・3・5月曜日  
(祝日の場合は、その翌平日)

アルテプラザ

(財団西部事務所)



TEL 0859-38-5127  
http://www.torikenmin.jp/artepiazza/  
〒683-0043 米子市末広町311 米子駅前  
ショッピングセンター4階(イオン米子駅前店4階)  
休業日:年末年始および毎週日曜日・月曜日



情報誌アルテWeb版

[アルテとはスペイン語で芸術、美術、技巧  
などの意味で、英語では「Art(アート)」]